

事業者名: 有限会社山本精機

■本社所在地: 鳥取県岩美郡岩美町浦富 610-7 ■TEL: 0857-72-1725

取組テーマ: もの作りを通して社会全体へ

■事業概要 (自社の技術・製品・サービスなど、主な事業について記載)

ステンレスなどの非鉄金属材料を使用し、成分分析装置向けの精密切削加工及びφ2 程度のパイプを使用した細管精密溶接を主な事業としている。
近年では当初の技術を生かし半導体製造装置、医療機器の製造メーカーからの引き合いも増加。

■2030 年に目指す姿 (現状を起点とした目標設定ではなく、SDGs 実現に向けた自社のあるべき姿を検討し、記載)

創業当時から国内大手の分析装置メーカーの主要サプライヤーとして事業活動を行ってきました。私たちの作り出す精密加工部品は高まる環境配慮型社会に欠かせない成分分析分野に貢献しています。同時に製品自体にも※1RoHS 指令、※2REACH 規則へ準拠や高精度、高機能部品への対応が求められています。当社はこれからは鳥取の地でベースとなる「もの作り」の技術力向上を進め、高まる顧客要求を具現化し SDGs に沿った高品質でクリーンな製品を供給する事でもの作りの面から社会全体へ貢献していきたいと考えています。また、環境面では社員一人一人が事業から排出される温室効果ガスの削減のため、節電節水、事業ごみ分別の徹底、廃棄物の削減に取り組みリユース、リサイクルを推進する事で資源を有効活用し循環型社会を構築し 2030 年には CO2 排出量低減目標の達成を目指します。従業員が仕事にやりがいを持ち、生き生きと働ける企業とするため、誰もが活躍できる場を設け、社員の安全、健康に配慮した働きやすい環境づくりを行い「山本精機」で働いてよかった、周囲から働いてみたいと思われる企業を実現します。
※1 RoHS(読み方:ローズ)指令とは、電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用を制限する EU(欧州連合)の規制です。
※2 REACH(読み方:リーチ)規則とは、EU における化学物質管理等に関する規制です。

■SDGs の取組の PR ポイント

当社は従業員ひとりひとりが仕事に対する問題意識を持ち、自ら考える場として社内改善活動に取り組んでいます。提案された改善テーマに取り組むことで、仕事に対する問題意識や工夫が生まれ、やりがいの創出を図っています。従来から取り組んでいる社内改善活動の各改善テーマに SDGs の関連するゴール番号を設定するようにし、一つ一つの改善が SDGs にどのように関わっているのか従業員自身が SDGs について考えるような仕組みにしました。



▲ 改善テーマの事例 関連するゴール番号 9、12

■3側面の重点的取組

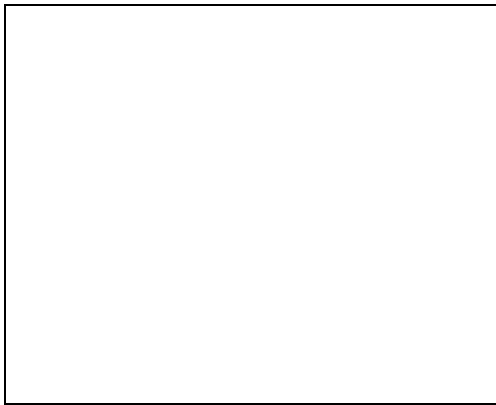
(重点的に取り組む項目を太字とし、現状と今後の目標・取組を記載)

社会		
認証申請した項目に○印	労働災害の防止	○
	ハラスメントの防止	○
	女性の活躍	○
	障がい者雇用	
	多様な人材の活躍	○
	多様な働き方の促進	○
	労働者の人権配慮	○
	社会配慮商品・サービス	
	地産地消	
	地域社会への貢献	
	+	
経済		
認証申請した項目に○印	BCP 策定	○
	セキュリティ対策	○
	法令遵守の取組徹底	○
	情報公開	
	後継者の確保	
	市場変化への対応	○
	経営資源活用	
	デジタル化・生産性向上	○
	雇用の維持・拡大	○
	人材育成・能力開発	○
	+	

全従業員を対象としたハラスメント教育の実施により、男女、障がい者を問わず誰もが活躍できる場を設けています。また、従業員の要望であった、休憩室の充実化(リラク্সスペースの設置等)をしました。従業員の意見を尊重し、働き続けられる環境づくりを目指します。



人材育成に積極的に取組みます。助け合う仕組みを構築する為に、多能工化の推進をしていきます。助け合いを実現することで従業員の技能向上が見込めるとともに、ノー残業 DAY の実行率や有給取得率を向上させ、余暇の充実が従業員のモチベーションアップに繋がり仕事へのやりがいの創出を図ります。また、デジタル化、自動化を推進し従業員への負担軽減を目指します。



環境		
認証申請した項目に○印	自社の気候変動リスク	○
	社会変化の気候変動リスク	
	自社による環境への影響	○
	燃料消費量の削減	○
	電力消費量の削減	○
	再生可能エネルギー	○
	廃棄物の削減	○
	水資源の適正な管理	○
	環境配慮型商品・サービス	
	環境面での社会貢献	○
	+	

事業活動で排出される、産業廃棄物、古紙の削減に努め、3R活動を行っています。CO2 排出の削減では、従業員に節電・節水についてのアンケートを実施し従業員全員参加で節電・節水に取り組んでいます。

また、会社周辺や周辺地域の美化活動として地元浦富の観光地である浦富海岸の清掃等、年イベントとして掲げています。



浦富海岸清掃 ▶

■トレードオフの分析

(上記重点的取組を推進した際に、トレードオフ(代償)としてどのような負の影響が生じるか、またそのことにどう対処していくか分析を記載)

・従業員が働きやすい環境づくり

社会 6 に記載されている内容 多能工化推進により助け合う仕組みを構築する事でより高効率化が見込め、ノー残業 DAY の実施や年間休日の拡大が見込めます。余暇の充実は従業員のモチベーションアップに繋がり仕事に対する英気を養う事に繋がりますが、負の側面として従業員個々の能力開発等への負担は増す。

働きやすい環境の整備

経済 9 に記載されている内容 新規設備の導入により高精度、高効率、省エネ対応型設備への入れ替えを行なうことで品質、コスト面で市場要求への達成と最新設備のオペレーションを行うことで従業員のスキルアップと達成したことによる、やりがいの創出が見込めます。またリードタイムの削減をすることで従業員の時間的負担の削減に繋がりますが、併せて個々へ求めるスキルはより高度な内容となります。

(様式第2号) とっとりSDGs企業認証 チェックシート [2024年3月改正版]

(企業名: 有限会社 山本精機)

色付きのセルのみ入力してください

社会	6	○	(○となった取組項目数とその各側面の判定)
経済	8	○	
環境	7	○	
合計	21	○	

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
社会1	労働災害の防止				○			
社会1			[KPI] 労働災害の年間発生件数	✓		0件	0件	
社会1			労働安全衛生に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		産業医による指導		【1年目】 ・安全パトロールによる危険個所の拾い出し ・ヒヤリハットの情報収集 【2年目】 ・安全パトロールによる危険個所の拾い出し ・ヒヤリハットの情報収集 【3年目】 ・安全パトロールによる危険個所の拾い出し ・ヒヤリハットの情報収集
社会1			安全衛生委員会の設置など、社内体制を整備している	✓		産業医含む6名で毎月会議の実施		
社会1		★	安全対策のルールやマニュアルなどを整備している	✓		2回/年 安全パトロールによる危険個所の拾い出し		
社会1		★	危険個所・ヒヤリハットの情報収集、実態把握を行っている	✓		2回/年 職場安全パトロールの実施 ヒヤリハット投函箱設置		
社会1			労災防止のための具体的な施設・設備の導入・改善を行っている			自動洗浄機、自動ドリル研磨機の導入、安全柵の設置		
社会1			労働安全衛生に関する研修を行っている				労働災害発生件数0件	
社会1			安全意識を醸成する外部の活動に参加している					
社会1			ISO45001などの労働安全衛生マネジメントシステム認証を取得している					
社会1			取引先において労災を誘発しないよう取引条件等に配慮している					
社会1			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
社会2	ハラスメントの防止				○			
社会2			[KPI] ハラスメントの年間相談件数	✓		0件	0件	
社会2			ハラスメント防止に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		産業医による指導		【1年目】 ・ハラスメント研修会実施 (全従業員対象) ハラスメントアンケート実施 【2年目】 ・ハラスメント研修会実施 (全従業員対象) ハラスメントアンケート実施 【3年目】 ・ハラスメント研修会実施 (全従業員対象) ハラスメントアンケート実施
社会2			ハラスメントを許さないことを経営トップがメッセージを発信している	✓		相談窓口詳細を掲示し周知		
社会2		★	ハラスメントに関する相談窓口を設置するなど、相談体制を整備している	✓		産業医の選任、相談窓口詳細を掲示し周知		
社会2		★	相談者・行為者等のプライバシー保護のための措置を講じ、周知している	✓		産業医の選任、衛生管理者の選任		
社会2			ハラスメントを行った者に対する懲戒規程等を整備し、従業員に周知している	✓		就業規則		
社会2		★	アンケートや面談などにより、実態把握を行っている	✓		ストレスチェックの実施	ハラスメント発生件数0件	
社会2			ハラスメント防止に関する研修を行っている					
社会2			社員同士以外のハラスメント（顧客、取引先、就活生等）の防止を図っている					
社会2			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
社会2								
社会3	女性の活躍				○			
社会3		★	[KPI] 全従業員に対する女性従業員の割合	✓		35% (女性従業員数19人)	40%	情報媒体を通じ、女性が活躍できる職場環境をアピールする等をし雇用の促進を図る
社会3		★	[KPI] 管理職に占める女性労働者の割合	✓		16% (女性管理職数2人/全管理職員数12人)	25%	これまで男性社員中心であった、安全衛生委員、製造技術グループなどの社内分科会への参画により会社運営に積極的に関わる体制を構築していく。
社会3			[KPI] 男性従業員賃金の平均額に対する女性従業員賃金の平均額の割合					
社会3		★	[KPI] 男性従業員の育児休業等取得率	✓		2% 1名育児休業を取得	育児休暇取得率100%	会社からは周知を行い、対象が出た場合は随時声掛けを行い育児休暇取得を促す
社会3			女性の活躍に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている					【1年目】 ・外部技能認定の取得のためのセミナー参加 【2、3年目】 これまで男性社員中心であった、安全衛生委員、製造技術グループなどの社内分科会への参画により会社運営に積極的に関わる体制を構築していく。
社会3			女性の活躍について、会社の方針を表明している					
社会3		★	育児・介護に配慮した柔軟な勤務形態導入などの規程を整備している	✓		就業規則		
社会3		★	自社の女性の活躍について、アンケート等により実態や課題を把握し分析している	✓		経営者による面談の実施による課題の把握		
社会3			必要な施設・設備の導入、改善を行っている					
社会3			女性のキャリアアップに向けた研修の実施や、外部研修への参加を推奨している	✓		外部研修への参加 終了証取得 1名		
社会3			県の輝く女性活躍ワーアップ企業、国のえるばし認定等に登録されている					
社会3			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
社会4	障がい者が働きやすい職場づくり				-			
社会5	多様な人材の活躍		※女性、障がい者以外の取組を記載、採用活動の記載は不要		○			
社会5			[KPI] 中途採用比率					
社会5			[KPI] 離職率または離職者数					
社会5			[KPI] 外国籍の社員数					
社会5			[KPI] 65歳以上の社員数					
社会5			多様な人材の活躍に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている (※本項目では、女性、障がい者以外の人材を対象)	✓		外国人技能実習生受入れ監理団体による指導		【1年目】 外国人技能実習生受入れ、定年退職者の再雇用継続、中途採用人材の受入れ 【2、3年目】 各種人材の受入れ後の課題を拾い出し改善していき、より良い労働環境を提供していく。
社会5			多様な人材（属性、キャリア・経験など）の活躍について、会社の方針を表明している (※本項目では、女性、障がい者以外の人材を対象)					
社会5		★	経営層は、多様な人材との対話や、課題の把握・解決を実践している	✓		外国人技能実習生受入れ監理団体による指導により受入れ体制の準備	中途採用者、外国人実習生、高齢者が安心して働き続ける事が出来る労働条件、環境を構築する。	
社会5			同一労働同一賃金に基づく待遇格差解消に取り組んでいる					
社会5		★	非正規労働者の正規への転換など、非正規労働者の処遇改善を推進している	✓		勤務評価により、非正規から正規への転換を行った		
社会5			高齢者の特性に応じた仕事内容の工夫や施設整備・設備導入を行っている	✓		特別勤務形態の導入 残業無、週休2日		
社会5			外国人労働者の受け入れに関する体制づくりを行っている	✓		7月～技能実習生受入れ		
社会5			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
社会5								
社会5								
社会6	多様な働き方の促進				○			
社会6			[KPI] ひと月あたりの労働者の平均残業時間					
社会6			[KPI] 年次有給休暇の取得率					
社会6			多様な働き方に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている					スキルマップを活用して多能工化を推進し有給取得しやすい環境づくり、生産効率Upによる残業時間の短縮、ノー残業DAYの実施
社会6			健康経営を経営方針として位置付けている	✓		健康経営優良法人 認定		
社会6			管理職の人事評価に、部下の残業時間や有給休暇取得状況を関連付けている					
社会6			上記以外の休暇を取得しやすい独自の仕組みを設けている					
社会6		★	フレックスタイムや在宅勤務、短時間勤務など柔軟な働き方に関する制度を設けている	✓		育児期間中の時短勤務の実施		
社会6			従業員の副業を認めている					
社会6		★	従業員へのヒアリングなどにより、課題等の実態把握を行っている	✓		経営者による個別面談の実施		
社会6			その他（※法令の規定への対応は対象外）					

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
社会7	労働者への人権配慮				○			
社会7		★	「ビジネスと人権」に関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		社労士、産業界による指導	人権関連トラブルを未然に防ぐ仕組みの構築	全従業員対象に人権問題アンケートの実施(年1回)
社会7			人権方針(人権ポリシー)を作成・公開している					
社会7			管理的地位にある従業員に対して、意識啓発や研修を行っている					
社会7		★	雇用契約書の締結、または、労働条件通知書を交付している	✓		1回/年 労働条件通知書の交付		
社会7			人権関連トラブルについて、従業員や取引先向けアンケートや相談窓口設置を行っている	✓		相談窓口の設置		
社会7			取引先において強制労働、児童労働が排除されていることを確認している					
社会7			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
社会8	社会配慮型商品・サービスの提供		※環境に関する内容は環境9に記載		-			
社会9	地産地消				-			
社会10	地域社会への貢献		※ビジネスとしての活動は社会8、環境に関するものは環境10に記載		-			
社会10			地元自治会との交流イベント主催、防災訓練への参加など、地域活性化の取組を行っている	✓		地元商工会を通して活動の参加	岩美町に根ざした企業として自社の企業活動が地域社会の発展に寄与し続ける事を目標とする。	岩美中学校の職場体験の受入れ、岩美高校への企業説明会を通じ地元への就職支援活動を行う 貴重な観光資源である浦富海岸のボランティア清掃活動の実施
社会10		地域の学校における社会教育活動に協力している						
社会10		地域の自治体や学校、福祉団体等への寄附や寄贈を行っている	✓			学校行事への寄付・協賛		
社会10		災害時等に、地域住民に対して物資や避難場所の提供等を行っている又は同様の取組に係る地域防災協定を締結している						
社会10		★	「あいサポート企業」登録など、障がいの有無に関わらず尊重しあう社会づくりに参画している					
社会10			通勤、出張時の公共交通機関利用を促進するなど、地域交通機関の維持に貢献している					
社会10			その他	✓		浦富海岸清掃 2回/年		
社会+			※社会1~10に該当しない項目について記載(該当するものは対象外)		-			
経済1	事業継続計画(BCP)の策定		※自社自身の取組を記載(他者の支援は社会8または10で記載)		○			
経済1		★	BCPを策定している	✓		制定済	事業継続計画2022年制定済	【1年目】 ・消防避難訓練 【2年目】 ・リスクの見直し 【3年目】 ・従業員を対象としたBCP研修
経済1			BCPに沿った訓練を実施し、有用性を検証している	✓		消防避難訓練の実施		
経済1			策定したBCPや訓練の結果に基づき、仕組みづくり、設備導入等の対策を行っている					
経済1			有用性を確保するため、定期的にBCPを見直している	✓		更新時期 毎年4月		
経済1			サイバーセキュリティや感染症など、新たな脅威を把握しリスクの分析を行っている					
経済1			その他					
経済2	セキュリティ対策				○			
経済2			セキュリティについて、専門機関の診断・指導を受けている	✓		鳥取県知事所有権センターによる新規取引先契約書、秘密保持契約書の事前確認	社内情報の漏えい防止	【1年目】 ・個人PCのパスワード管理 【2年目】 ・情報漏洩防止にかかわる情報提供 物づくりリザーブなどの情報揭示 【3年目】 ・情報漏洩防止にかかわる情報提供 物づくりリザーブなどの情報揭示
経済2			取引先や運送・清掃業者など、建物出入りする者のセキュリティ上のルールを整備している					
経済2		★	個人情報や機密情報の入手、利用、保管、提供、消去等の取扱ルールを設けている	✓		営業秘密管理規定制定済		
経済2			情報セキュリティに関する管理者や専門部署を設置している	✓		担当管理者		
経済2			経営層や従業員に対して、専門家によるセキュリティ研修を行っている	✓		秘密保持研修		
経済2		★	ウイルス対策ソフトの導入やOS等の定期的更新している	✓		実施		
経済2			重要な情報については、アクセス制限を行っている	✓				
経済2			ISMS認証やPマークなどを取得している	✓		SECURITY ACTION宣言		
経済2			その他、具体的なセキュリティ対策を実施している					
経済3	法令順守の取組の徹底(必須)				○			
経済3			コンプライアンスに関して、経営層が専門家から指導・助言を受けている	✓		社会保険労務士による指導	コンプライアンス遵守違反ゼロを目指す	【1年目】 ・社内コンプライアンスマニュアルの作成 【2年目】 ・コンプライアンス教育の実施(全従業員対象) 【3年目】 ・コンプライアンス教育の表
経済3			経営トップが、法令順守することについて、社内外にメッセージを発信している					
経済3		★	自社事業に関わる法令を把握し、社内共有し、遵守している	✓		労働安全衛生法、定期健康診断/特殊健康診断等 安全衛生委員会での共有		
経済3			コンプライアンス委員会の設置など、チェック体制を設けている					
経済3		★	コンプライアンスマニュアルなどの社内規定の作成し、社内に周知している	✓		営業秘密管理規定/営業秘密管理規定の制定		
経済3			従業員に対するコンプライアンス研修を実施している					
経済3			その他(※法令の規定への対応は対象外)					
経済4	情報公開				○			
経済4			地域住民に影響を及ぼす可能性のある事業活動について、関係自治体や地域住民への情報提供など、適切なコミュニケーションを行っている				HP、SNSの活用し、積極的な情報公開を行うと共に公的機関の主催する就活イベント等への参加を行い多様な人材の確保を進める	【1年目】 ・ホームページの更新 【2、3年目】 SNSの開設、情報発信
経済4			就職を希望する者に対して、人事労務や就労実態等に関する情報提供を行っている	✓		ハローワークへの情報公開、求職者への工場見学の実施		
経済4			情報提供にあたっては、多様な利用者や利用環境(アクセシビリティ)に配慮した情報提供を行っている	✓		とっとり企業ガイダンスへの参加、鳥工・岩美高企業説明会へ参加		
経済4			消費者や取引先からの情報開示の問い合わせに対する対応方針を策定し、適切に対応している					
経済4			消費者や取引先に影響のある情報漏洩や品質問題などの公表基準を設け、適切に運用している					
経済4			会社としての公式ホームページやSNSを有し、定期的に情報発信している					
経済4			その他(※法令の規定への対応は対象外)	✓		展示会で出展を行い会社のPR ・2024_2025 国際宇宙ビジネス展/国際宇宙産業展 鳥取県ブース出展		
経済5	後継者の確保				-			
経済6	市場変化を見据えた対応				○			
経済6			自社事業に影響を及ぼし得る、顧客のライフスタイル、価値観の変化を把握し、分析している	✓		顧客評価結果、品質情報等のモニタリング	品質/コスト/納期において顧客満足度100%達成 顧客CSR調達ガイドラインの遵守	マニュアル化を推進し品質向上、歩留まり改善活動を実施し損失額削減、生産リードタイムを短縮し短期対応が可能な体制の構築
経済6			今後見込まれる法令改正や規制緩和がもたらす自社事業への影響を把握し、分析している	✓		原材料に含まれる化学規制物質、紛争鉱物等、環境調査による品質保証		
経済6			上記変化を踏まえた自社の商品・サービス、事業領域の見直しを行っている					
経済7	自社以外の経営資源活用		※グループ企業間での取組は対象外		-			
経済8	デジタル化による生産性向上				○			
経済8			[KPI] 労働生産性(付加価値額÷従業員数)				仕入れ、販売、製造管理等のデジタル化推進 製造工程の自動化省力化推進 労働生産性:12百万円/人 目標伸び率 4.5%	生産設備の自動運転機能を活用し、無人化による生産体制の構築を行う 稼働時間の延長 人生産性の向上
経済8			専門家から助言・指導を受けながら、経営層が主体となってデジタル化・DXを進めている	✓		OJT、OFFJTを含む研修会への参加		
経済8			デジタル化・DXに関する計画や方針を策定している					
経済8			デジタル化を推進する専用の部署や人材など、体制づくりを行っている	✓		システムGrの設置		
経済8		★	営業・仕入れ・販売、開発・製造管理など、個別業務のデジタル化を行っている	✓		受注管理、在庫管理等実施済		
経済8			業務間のデータを連携し全社的なデジタル化による業務変革・DXを進めている					
経済8			顧客・取引先との接点業務など各種業務におけるデジタル技術の活用状況を分析し、運用改善を行っている					
経済8			新たな価値や顧客創出に向け、AI、ビッグデータ等を活用している					
経済8			その他					

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組	
経済9	雇用の維持・拡大		※採用活動そのものは対象外		○				
経済9		★	[KPI] 従業員数	✓		54人	60人	・年間休日日数の拡充 ・福利厚生充実 ・賃金ベースアップ	
経済9			採用後にミスマッチが起きないよう、インターンシップや内定後のフォローアップなどを行っている				完全週休2日制の実施	・年間休日日数の拡充 ・福利厚生充実 ・賃金ベースアップ	
経済9			会社の成長・発展に向けた事業転換や経営の多角化、設備投資を行っている	✓		生産効率向上のための最新設備を導入			
経済9			新規出店や商圏拡大、M&Aなどの事業拡大に取り組んでいる						
経済9			事業転換や多角化、商圏拡大などの方針を踏まえた人材のスキル転換、処遇改善、採用活動を行っている						
経済9			人材確保のため、物価上昇率なども勘案し、賃上げ（ベースアップ）を行っている	✓		賃上げを行う為、価格転嫁を顧客へ相談			
経済9			離職防止、ES向上に向けた取組を行っている	✓		賃金ベースアップ、年間休日日数の拡充			
経済9			その他						
経済10	人材育成・能力開発				○				
経済10			経営層関与の下、従業員の能力向上に向け、一定の予算を確保し、人材育成に取り組む方針を示している	✓		DX化に向けた技能向上の為、外部研修への参加 試作品開発予算の確保	マニュアル化の推進、 OJT/OFFJTを通し多能 工化率を向上させ、仕事 全体を理解することで技 術向上が期待でき、 個々が仕事に対する達成感や、やる気が創出される仕事環境の創出	誰でもわかりやすい手順書作成 (技能実習生向け、動画手順書) 外部研修、講習会への参加	
経済10			業務に必要なスキルマップを作成・更新している	✓		継続実施 ISO9001 力量評価			
経済10			従業員のスキルを定期的に把握し、能力開発計画を策定・更新している	✓		年間教育訓練計画/スキルマップ			
経済10			外部研修への参加やeラーニングの活用を奨励し、積極的に受講させている	✓		DX化に向けた技能向上の為、外部研修への参加			
経済10			OJTの質の向上に向けた業務内容のマニュアル化やマニュアルの見直し、トレーナー教育を行っている						
経済10			ジョブローテーションにより、計画的に従業員のスキルアップ・多能工化を図っている						
経済10			能力の向上を人事評価や処遇に反映させる仕組みを設けている						
経済10			従業員の資格取得を推奨し、要する費用を支援している						
経済10			その他						
経済+			※経済1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		-				
環境1	自然環境の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策①】		○	分析・検討内容を記載			
環境1		★	リスクを特定している（気候変動による災害リスクの主なもの 急性リスク：洪水、台風、自然火災等/慢性リスク：海面上昇、高温、水不足等）	✓		猛暑による熱中症	BCPで定めた自然災害の行動計画の実施	・リスクの見直し ・従業員を対象としたBCP研修	
環境1		★	上記リスクの自社への影響を分析している（特定したリスクそれぞれについて記載）	✓		体調不良による人員不足から生産性低下			
環境1		★	上記リスクについて優先順位（発生頻度×影響の重大性）をつけている	✓		熱中症			
環境1			上記リスクへの対策を進めている	✓		熱中症対策 6月～10月 給水場の設置 空調設備の増設			
環境1			自然環境の変化による機会について分析している						
環境2	社会・制度の変化が経営にもたらす影響		【気候変動リスク・機会の分析・対策②】		-	分析・検討内容を記載			
環境3	自社の事業活動が引き起こす影響		【環境負荷リスクの分析・対策】		○	分析・検討内容を記載			
環境3		★	自社の事業活動（原材料・エネルギーの調達、生産、販売、使用、物流等）が環境に与える負荷（CO2や廃棄物、化学物質等の排出、大気汚染や生物多様性、海や森林にどう影響するか）について、分析している	✓		CO2排出量、廃棄物 毎月集計	ペーパーレス化による紙の使用量削減 ・紙の裏を使用し紙の使用量削減 ・古紙は、シュレッダーを使用後リサイクル業者へ依頼		
環境3			自社の製品・サービスが利用され、最終的に廃棄されることで環境に与える負荷について、分析している	✓		生産活動におけるエネルギー使用量をCO2排出量排出量に換算			
環境3			自社の事業活動が環境負荷の軽減に貢献する機会について分析している						
環境4	燃料消費量の可視化と削減 (Scope1)		【カーボンニュートラル①<省エネ>】		-				
環境5	電力消費量の可視化と削減 (Scope2)		【カーボンニュートラル②<省エネ>】		○				
環境5		★	[KPI] Scope2のCO2排出量	✓		18.7t-CO2	売上に対する電力使用量比率の削減	見える化と削減は常にテーマとして掲げ、残業時間の削減や省エネ設備への転換を行い電力使用量削減に努める	
環境5			専門家による省エネ診断を実施し、削減に向けた助言・指導を受けている	✓		省エネ診断結果のフォロー		見える化と削減は常にテーマとして掲げ、残業時間の削減や省エネ設備への転換を行い電力使用量削減に努める	
環境5			省エネ設備（LED照明、高効率空調等）の導入・更新を行っている						
環境5			EMS（エネルギーマネジメントシステム）を導入し、エネルギーの使用状況を可視化やエネルギー運用の効率化を行っている	✓		TEAS運用によるエネルギーの見える化	売上に対する電力使用量比率の削減		
環境5			省エネに対応した建物改修を行っている						
環境5			節電マニュアルを作成し実践している						
環境5			その他						
環境6	再生可能エネルギーの導入		【カーボンニュートラル③<創エネ>】		○				
環境6		★	[KPI] 全使用電力に占める再生電力の割合	✓			7.10%	気象状況により変動の為、現状維持	現状維持
環境6			再生設備を設置し、発電した電気が発生した熱を自家消費している（売電など他社へ供給している場合は環境9へ）	✓		再生設備導入し売電している		【1年目】 ・現状維持	
環境6			グリーン電力証書の活用など、再生エネルギー由来の電力を調達している				2024年度売電実績： 38323kWh (気象状況により変動)	【2年目】 ・現状維持	
環境6			その他					【3年目】 ・現状維持	
環境7	廃棄物の削減		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		○				
環境7		★	[KPI] 総廃棄物発生量（※産業廃棄物だけでなく事業系一般廃棄物等も含む）	✓		0.76t	ペーパーレス化による紙の使用量削減 ・紙の裏を使用し紙の使用量削減 ・古紙は、シュレッダーを使用後リサイクル業者へ依頼	・電子化の推進を図り紙の使用量削減 ・紙の裏を使用し紙の使用量削減 ・古紙は、シュレッダーを使用後リサイクル業者へ依頼	
環境7			事業別、事業所別の廃棄物排出量について、インバクトの大きな内訳を把握・分析している	✓		ゴミ・廃棄品集計表		・電子化の推進を図り紙の使用量削減 ・紙の裏を使用し紙の使用量削減 ・古紙は、シュレッダーを使用後リサイクル業者へ依頼	
環境7			廃棄物削減についての計画を策定し、具体的な取組を行っている	✓		梱包資材等の再利用		・紙の裏を使用し紙の使用量削減 ・古紙は、シュレッダーを使用後リサイクル業者へ依頼	
環境7			フードバンクやフードドライブ、フードシェアリングなどにより食品廃棄物削減を推進している						
環境7			調達・設計・製造段階で、廃棄物をできるだけ出さないような対応を行っている				ペーパーレス化による紙の使用量、廃棄量の削減		
環境7			製品・サービスの提供段階で、廃棄物をできるだけ出さないような対応を行っている						
環境7			廃棄物を資源として再利用することを事業実施上の仕組みとして取り入れている	✓		残材、切粉 有価物回収			
環境7			その他（※法令の規定への対応は対象外）						

番号	取組項目	必須	チェックリスト	チェック欄	判定	直近1年程度の具体的な取組 (更新申請においては、直近の認証期間中の具体的な取組)	2030年の目標	今後3年間の取組
環境8	水資源の適正な管理		※自社自身の取組を記載（他者を促す内容は環境9で記載）		○			
環境8		★	[KPI] 年間使用量	✓		656,000 ℓ	自動洗浄機対象製品を増やす事で水道使用量を削減に努める 現状対象製品割合：5%	【1年目】 ・現状対象製品割合：7% 【2年目】 ・現状対象製品割合：9% 【3年目】 ・現状対象製品割合：11%
環境8			事業別、事業所別の使用量について、インバクトの大きな内訳を把握・分析している	✓		水道使用量削減実績表	自動洗浄機対象製品を増やす事で水道使用量を削減に努める	【1年目】 ・現状対象製品割合：7% 【2年目】 ・現状対象製品割合：9% 【3年目】 ・現状対象製品割合：9%
環境8			水使用量削減についての計画を策定し、具体的な取組を行っている	✓		自動洗浄設備導入による水道使用量の削減	削減に努める	現状対象製品割合：5%
環境8			水質汚濁防止法等に基づき、排水の水質等について、適正な管理・運用を行っている					
環境8			工場内等で水を循環利用するための施設を整備している					
環境8			その他（※法令の規定への対応は対象外）					
環境9	環境配慮型商品・サービスの提供				-			
環境10	環境面での社会貢献		※ビジネスとしての活動は環境9に記載		○			
環境10			会社として、道路・海岸や砂丘など、地域の清掃活動を行っている	✓		浦富海岸清掃 2回/年		貴重な観光資源である浦富海岸のボランティア清掃、会社周辺、周辺地域の美化活動の実施
環境10			調達時には、グリーン商品や森林認証（FSC、SGEC）を受けた商品など、環境に優しい商品を選定している					
環境10			生物多様性の保全のための植樹活動や野生鳥獣保護活動を行っている					
環境10			J-クレジット購入又は共生の森づくりへの参加により、地域の森林保全に貢献している	✓		「カーボン・オフセット」パートナー協定 締結	会社周辺や地元観光資源（海岸）の美化活動	
環境10			学校や地域に対して、環境教育活動を実施している	✓		会社周辺、周辺地域の美化活動		
環境10			環境保全のための寄附、寄贈等を実施している					
環境10			その他					
環境+			※環境1～10に該当しない項目について記載（該当するものは対象外）		-			